

### 大型エアークインパクトレンチ ピistol型

### 取扱説明書

【品番】 AI-7

この度は、KIKAIYA「大型エアークインパクトレンチ ピistol型」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- \* 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく安全にご使用ください。
- \* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3  
(MAIL) info@kikaiya.com

## ■調査及び修理をご依頼の前に

\* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

\* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

## ■開封時

開封したらすぐに中身を確認してください。

付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して動作確認をしてください

## ■仕様

商 品 名	大型エアーインパクトレンチ ピistol型
本 体 重 量	4.7kg
シャンク長さ	187mm
ソケット差込角	1 インチ (25.4mm)
エアインレットサイズ	NPT 3/8 インチ
本 体 材 質	樹脂、鉄
使用ホース内径	13mm
推奨空気圧	90PSI(6.2Bar)
無負荷時最大回転数	5500rpm (3段階スピード)
最大トルク	2034Nm
実使用最大トルク	271~1224Nm ※使用条件により変わります
付 属 品	エアーカプラー 1個

(改良の為、予告なく仕様に変更となる場合があります)

## ■オイルの補充方法



### 使用前、使用後には必ずエアープラグの口に2～3滴注油してください

- 使用後は注油したのち再度エアークラスをつなぎ2～3回カラ回転(無負荷回転)させ、オイルを本体内に循環させてください。(※必ずソケットを外した状態で行ってください。)
- オイルは「ISO VG10」をご使用ください。

#### 【注意】

- ※ 注油をしないと、能力低下や故障の原因になるばかりでなく本体内が錆びて回らなくなります。
- ※ ご使用時に排気口から油が漏れることがあります。故障や不良ではございません。

## ■エアークラスの接続

1. エアープラグからエアープラグキャップを外します。
2. エアープラグにエアークラスのエアチャックを接続します。

#### 【注意】

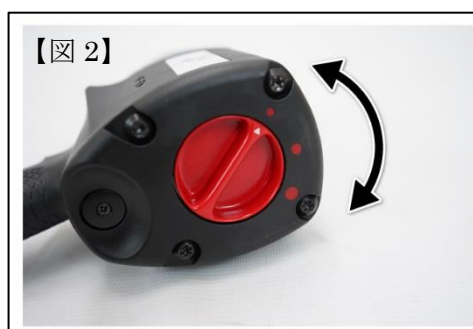
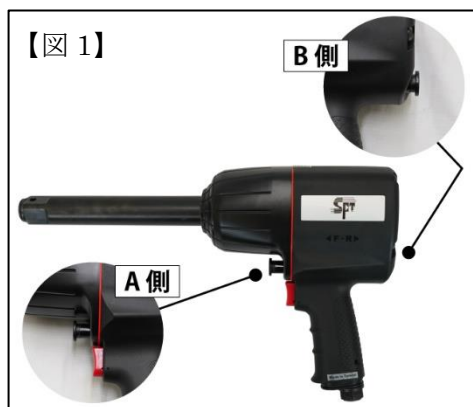
- ※ エアークラスを接続する時は誤って作動させないように、ボタンに指をかけないように十分に注意してください。
- ※ 回転部を人に向けた状況でエアークラスは接続しないでください。

## ■回転方向及び出力調整

- 回転方向調整→A側から押すと反時計回りになり、B側から押すと時計回りになります。【図1】
- 出力調整→それぞれ3段階の調整が可能です。【図2】

#### 【注意】

- ※ 使用前に必ず回転方向を確認してください。
- ※ 回転方向・出力調整の変換は必ず回転が停止した状況で行ってください。



## ■ 注意事項

### 【作業環境について】

- きちんと整理整頓された十分に明るい場所で作業してください。
- 作業時は保護メガネを必ず着用してください。作業環境によっては、防塵用ゴーグル、防塵用マスクを着用してください。
- 回転部に巻き込まれないよう、袖口の開いた服装、ネクタイ、ネックレスなどは着用しないでください。長い髪も危険ですので、髪をまとめる、帽子を着用する等してください。手袋を使用する際は巻き込まれないよう、滑らない手袋を着用してください。

### 【作業前について】

- 作業に合った工具を使用し、工具の能力と作業に合う速度、トルクを選んでください。
- 作業前に異常がないか必ず確認してください。
  - ✓ 本体のボルトの締付けが緩んでいたり、抜けていないか。
  - ✓ 各部品が外れていたり、傷んでいないか。
  - ✓ ソケットが割れたり減っていないか。
- ※ 上記症状がある場合、事故や破損の原因となります。
- エアーコンプレッサー以外の原動力は絶対に使用しないでください。
- エアーホース接続時には異常がないか必ず確認してください。
  - ✓ エアーホースを接続しただけで作動音がしないか。
  - ✓ エアー漏れや異常音がしないか。
- ※ 上記症状がある場合、絶対に使用しないでください。
- その他何らかの異常を感じる場合は作業を中断してください。

### 【作業中について】

- 必ず使用空気圧を守ってください。[90PSI(6.2Bar)]
- 加工物はしっかりと固定して作業してください。手で加工物を保持すると危険です。
- 回転部は絶対に人体に向けたり、手を近づけないでください。
- ボルト・ナットはソケットに確実に挿入し、対象物に入れてください。
- 作業中断時、移動時は必ずエアーホースを外してください。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しないでください。引火や、空気と一緒に吸入圧縮され爆発の危険があり大変危険です。(例:シンナー、ガソリン等)

### 【作業後について】

- 作業終了時には必ずエアーホースを外してください。
- 作業後は、オイルを注油し大切に保管してください。
- 野外に放置するなど、直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。